

Case : 184

電話機と間違えて操作し続けたため、ベッドが最大高まであがってしまう

場面の説明

手元スイッチを受話器と勘違いしており、操作ボタンを押しているうちにベッドの高さが上がってしまった



利用シーン	 リモコン操作
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

事故にならなければ、ひやりとしなければ見過ごしてしまうようなことでも、実は「ひとつ間違えば…」という危険な場面はたくさんあります。この事例も、手元スイッチのコードが体に巻きつく、最大高さのベッドから降りようとするなど「ひとつ間違えば…」の場面を想像すると、単なる笑い話では済まされない危険を感じます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：手元スイッチを受話器と勘違いしていた
- 人：利用者が触れる位置に手元スイッチを置いていた
- 人：認知症状があった
- モノ：手元スイッチに誤操作防止のためのロック機構がなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 184

電話機と間違えて操作し続けたため、ベッドが最大高まであがってしまう

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

手元スイッチを受話器と勘違いしており、操作ボタンを押しているうちにベッドの高さが上がってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ